

空知管内

北海道夕張高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒068-0424 夕張市千代田7番地1
- 問 合 せ 先 TEL 0123-56-5530
FAX 0123-56-5532
E-mail yukoyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yukoyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「Believe in yourself～協働・チャレンジ～」
「輝きながら、夢をもって歩む人を育てる」
- 校 訓
「伸びやかに たくましく」



□ 概 要

本校は、知的障がいと他の障がいを併せ有する生徒を対象とした高等部普通科のみを設置する特別支援学校として平成13年に開校しました。令和6年度からは、普通学級が設置になり、学年の人数が最大11名となりました。個に応じた丁寧な指導と集団での指導の両面から個々の生徒の自己実現を目指し教育活動を実践しています。また、寄宿舎を併設しており、学年を超えた生徒同士の関わりの中で基本的な生活習慣の育成を地域の教育力も活用しながら目指しています。

■特色ある教育活動

個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた一人一人に応じた指導の充実

【 小集団・縦割り学習集団、個別対応による学習形態 】

生徒一人一人の障がいの状態に応じた教育課程を編成し、個々の教育的ニーズに応じた指導を行っています。個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいて指導体制や教育環境の整備に努め、社会生活において生徒個々に必要となる知識や技能等の実践的な力の育成を行います。

【 個別の課題に応じた進路指導 】

進路選択に向けて、1学年から事業所の見学を行います。事業所における現場実習は2学年から居住地において実施し、3学年になると卒業後の利用を前提とした現場実習を実施します。毎年行う校内実習や地域の教育資源を活用した授業の展開など、丁寧な進路指導に努めています。

【 充実した寄宿舎生活 】

寄宿舎生活では、2人部屋を基本としています。日課に沿った生活を通して、基本的な生活習慣の質を高めるとともに、余暇活動の充実を図り、社会で「生活する力」の育成を行います。

【 個別の配慮が可能な設備・施設 】

校舎は、平屋のバリアフリーの構造で、各学年に1室ずつ冷房付きの教室、全教室に高さを調節できる可動式の洗面台があります。



作業学習【紙工作業】



音楽【夕張高校との交流及び共同学習】



夕張チャレンジプログラム【若菜町内会の花壇整備】



保健体育【モルック】



寄宿舍での活動【レクリエーション】



寄宿舍での活動【大掃除】

■週時程表

【全学年共通】（普通学級/重複障がい学級）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の会）				
	保健体育				
2	国語・数学 / 自立活動				
中休み					
3	作業学習				生活単元学習 ／ 総合的な探究の時間
4					
日常生活の指導（給食）					
5	音楽	美術	音楽	ホームルーム活動	日常生活の指導（そつじ）
6	自立活動		自立活動 ／ 生徒会	日常生活の指導（帰りの会）	
日常生活の指導（帰りの会）					

■教育課程の特徴

本校では、学校教育目標を達成するために『協働・チャレンジ』を合い言葉に、目指す生徒像（資質・能力）として、①日常生活にかかわる力 ②健康・体力にかかわる力 ③相談・理解・表現にかかわる力 ④余暇活動にかかわる力 ⑤人とかかわる力の「5つの力（意欲）」の育成に努めています。

□ 教育課程

令和7年度から新しい教育課程を実施しています。

「自立活動」に重点を置き、各教科等を合わせた指導である「作業学習」「生活単元学習」や「日常生活の指導」、教科別の指導である「国語」「数学」「保健体育」「美術」「音楽」と「総合的な探究の時間」「道徳」を学びます。

□ 自立活動

自立活動では、一人一人の実態に合わせて、それぞれの課題に即した活動を取り入れ、他の学習と関連付けて学習しています。

* 登校時間 8:35（月・火・水・木・金）

* 下校時間 14:40（月・火・水）／14:00（木・金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労（生活介護）～1名
 - ・生活形態 福祉事業所への入所～1名

※令和7年度については、卒業生は0名でした。

学校Webページ

